

**東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への  
地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施状況について**

当社は、平成23年11月11日付け、原子力安全・保安院（以下「保安院」という。）からの「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施について」の指示<sup>※</sup>に基づき、「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価実施計画書」（以下「実施計画書」という。）を提出し、評価の状況等を定期的に保安院に報告しています。

（平成23年11月18日、平成24年1月31日、2月28日、3月30日、5月31日、6月29日発表済み）

本日、実施計画書に基づく評価状況について以下のとおり、保安院に報告しました。

**1. 東海第二発電所における津波評価**

東海第二発電所における津波評価については、平成24年8月を目途に評価結果を報告することとしており、現在、「地震・津波に関する意見聴取会」における津波に係る審議状況も踏まえ、検討を実施しています。

**2. 敦賀発電所における津波評価**

敦賀発電所における津波評価については、平成24年8月を目途に評価結果を報告することとしており、現在、「地震・津波に関する意見聴取会」における津波に係る審議状況も踏まえ、検討を実施しています。

**3. 敦賀発電所における浦底断層の活動に伴う地盤の変位評価**

敦賀発電所における浦底断層の活動に伴う地盤の変位評価については、「地震・津波に関する意見聴取会」における活断層の規模や地震動に関する審議の状況等も踏まえ検討を実施し、評価が取りまとめ次第速やかに報告することとしており、引き続き評価作業を進めています。

なお、敷地内の破碎帯に関する追加調査については、11月に完了するよう5月から調査を開始しており、引き続き調査・検討を進めます。

評価作業の進捗状況については9月を目途に報告します。

※【平成23年11月11日付 原子力安全・保安院からの指示内容（概要）】

原子力安全・保安院は、当社に対して、以下の評価に係る実施計画の策定及びその評価結果の報告を求めています。

1. 津波堆積物の掘削調査結果を踏まえた敦賀発電所への影響評価
2. 敦賀発電所における活断層の近接箇所の地層変位の評価手法を明らかにし、当該手法に基づき原子炉建屋等に対する影響評価
3. 敦賀発電所における周辺斜面の安定性の再評価及び当該再評価を踏まえた安全上重要な施設等への影響評価
4. 東海第二発電所における断層の活動性及び長さについて再評価し、当該再評価を踏まえた基準地震動の評価

以上

問合せ先：日本原子力発電株式会社

広報室 田口・浦上

TEL：03-6371-7300